

青森県農林総合研究センター



あらまし

農業情勢の変化に的確に対応し試験研究を効率的に推進するためには、研究ニーズを適切にとらえた課題の設定や試験研究機関相互の連携がきわめて大切です。

このため、試験研究の企画調整を通じた総合的な研究の推進や、開発された技術に経営的視点を加え、その成果を速やかに生産現場へ普及することを目的に、平成6年4月、「青森県農業研究推進センター」が設立されました。

平成15年4月には、農業関係の試験研究の総合調整機能を強化するため、「農業研究推進センター」と「農業試験場」を統合し、新たに「農林総合研究センター」として設置したほか、「グリーンバイオセンター」、「畑作園芸試験場」、「フラワーセンター21 あおもり」、「りんご試験場」、「畜産試験場」、「林業試験場」を「農林総合研究センター」の下部機関として配置しました。

農林総合研究センター

平成19年3月に黒石市田中地区に新庁舎を建設し、移転しました。

総務室、企画調整室、低コスト稲作研究部、良食味米開発部、転作物研究部、土づくり研究部、病害虫防除室及び藤坂稲作研究部の3室5部体制で、農林業関係試験研究の総合調整や企画管理を始め、農業経営分析、水稻、畑作・野菜、病害虫防除などの研究を行っています。

水稻の品種開発では、主食用の耐冷性・耐病性に優れた極良食味品種のほかに、極小粒種(普通の半分の大きさの丸いお米)「つぶゆき」や、冷凍飯米に向く低アミロース米「ゆきのはな」、「ねばりゆき(青系159号)」、ポリフェノールやビタミン類が豊富な紫黒米「紫の君(青系紫153号)」、「式部糯(青系紫糯154号)」なども育成しています。

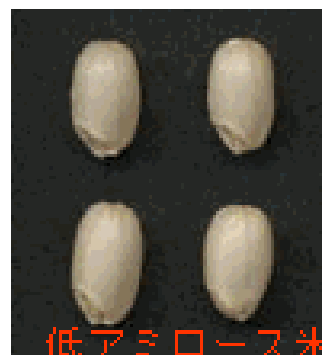


極小粒米

「つぶゆき」



玄米混ぜご飯



低アミロース米

「ゆきのはな」



冷凍サバ寿司

農林総合研究センターグリーンバイオセンター

グリーンバイオセンターは、農業分野におけるバイオテクノロジー研究を行っています。

遺伝子工学研究部

りんごなどの果樹を対象に、育種の効率化を図るためのDNAマーカーの開発と遺伝子組換え技術を利用しためずらしい色をした花の育成を行っています。

細胞工学研究部

主に花きを対象に、放射線照射などの突然変異作出技術及び遺伝子組換えなどの先端的なバイオ技術を利用し、花色や花形に特色のあるオリジナル新品種の開発を行っています。

微生物工学研究部

バイオ技術を用いて、大玉・無臭のにんにくや粘りのあるながいもなど、特産野菜の新品種開発に取り組んでいます。また、ながいものウイルス病ワクチン(弱毒ウイルス)の開発を行っています。



放射線照射で作出した
キクの新品種「えみあかり」



開発したナガイモえそモザイク病弱毒ウイルスのほ場における病徴
左：ウイルスワクチン接種株（病徴軽い） 右：ウイルスフリー株（無病徴）
中：強毒ウイルス感染株（病徴激しい）

農林総合研究センター畑作園芸試験場

畑作園芸試験場は、野菜・畑作物の試験場として、本県の気候風土に適した品種の選定、栽培技術、病害虫の防除技術、土壌・施肥管理技術などを研究開発しています。

栽培部

畑作物や野菜の生産技術を研究しています。

近年は、自然エネルギーを活用した冬場の野菜生産技術、大型機械を導入したながいも高品質生産技術、環境にやさしい野菜生産技術などの研究に取り組んでいます。

作物改良部

ながいも、にんにくなどの重要な作物の優良品種育成や小麦、大豆、そばなどの種苗生産に取り組んでいます。

病害虫防除室

環境にやさしい病害虫防除について研究しています。また、病害虫の発生予察及び防除指導に関する事業にも取り組んでいます。



太陽光発電を利用した野菜栽培ハウス



ながいも優良種苗（むかご）の増殖



にんにくの作況試験

農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり

フラワーセンター21あおもりは、花の作型の開発や高品質安定生産技術の確立、品種改良、病害虫防除技術、施肥管理技術などに関する試験研究、産地拡大に向けた現地実証試験、指導者養成や生産者の技術力向上のための各種研修などを行っています。

特に最近では本県で品質の良い切り花生産が期待できるデルフィニウムの品種改良に力を入れています。

栽培開発部

切り花・鉢花・花木などの栽培法、組織培養などによる優良種苗の増殖技術に関する試験研究や、オリジナル品種の育成などを行っています。

生産技術部

花きに係る農業機械及び農業施設の利用及び改善、病害虫防除、土壌改善、施肥改善、鮮度保持及び貯蔵などに関する試験研究を行っています。

普及技術部

花きの栽培改善、施設生産、病害虫防除に係る技術の体系化などに関する試験研究や、花き栽培の技術指導を行っています。



デルフィニウム新品種 左から「ブルースピアー」、「スカイスピアー」、「イエロースピアー」

農林総合研究センターりんご試験場

りんご試験場は、「陸奥」、「つがる」などの食味に優れた品種の育成や病虫害防除技術の研究など、本県りんご産業の振興に大きな役割を果たしています。また、おうとうやぶどうなどの特産果樹についても、県南果樹研究センターを中心に研究を行っています。

栽培部

りんごの栽培技術の基礎試験、樹形改善、省力生産技術、収穫果の品質管理技術、輸りんご品質保持技術、植物調節剤の利用法やりんご以外の特産果樹栽培技術に関する試験研究を行っています。

育種部

りんごの優良品種や優良わい性台木の育成・選抜、試験ほ場の一般栽培管理、試験用台木と苗木の養成などを行っています。

病虫部

りんごやそれ以外の特産果樹の病虫害防除に関する試験研究を行っています。

県南果樹研究センター

りんご及びそれ以外の特産果樹に係る栽培技術の基礎試験、省力・高品質栽培技術、収穫果の品質管理技術、優良新品種の選定・育成、有害動植物の生態解明と防除技術などに関する試験研究を行っています。



果実分析



青台3を利用したわい化栽培

農林総合研究センター畜産試験場

畜産試験場は、家畜の効率的な飼養管理技術、受精卵移植関連技術、飼料作物の栽培・調製技術に関する試験研究のほか、畜産試験場が開発した能力の高い家畜の精液や鶏の種ヒナの供給等を行っています。

繁殖技術肉牛部

家畜の受精卵移植及び関連技術、肉用牛の高品質・低コスト生産のための育成・肥育技術に関する試験研究や家畜人工授精、受精卵移植などの技術者の養成を行っています。

中小家畜・シャモロック部

配合飼料の高騰に対応した豚の低コスト飼養技術や畜産試験場が開発した青森シャモロック及び大黃卵鶏などの飼養管理技術に関する試験研究や種ヒナを供給しています。

酪農飼料環境部

牧草・飼料作物の優良品種選定、栽培管理技術、良質粗飼料の生産・調製・貯蔵技術及び乳用牛の飼養管理技術及び家畜ふん尿の処理技術などの試験研究を行っています。

和牛改良技術センター

黒毛和種の高能力種雄牛の開発を目的に、種雄候補牛の生産供給及び産肉能力検定、人工授精用精液の製造、供給を行っています。

和牛改良資源センター

黒毛和種の受精卵移植技術を活用した種雄候補牛の生産、クローン検定などの実用化試験研究や優良種雄牛の精液収集・保存などを行っています。



優良種雄牛「第1花園」



特産地鶏「青森シャモロック」



バイオガスプラント

農林総合研究センター林業試験場

森林の管理や木材加工技術、木工品の工作、塗装の技術などに関する試験研究や青少年の森や鳥獣保護センターの管理運営を行っています。

森林環境部

森林の保護管理、森林の環境保全、林木育種や食用きのこ、その他特用林産物などの試験研究を行っています。

木材加工部

木材品質、製材、乾燥など木材の加工技術や木工品の工作及び塗装技術などの試験研究や木工技術員の養成を行っています。



スギミニチュア採種園造成



きのこの栽培試験



スギ間伐材を加工した植物育成用基盤
(青森空港屋上に設置)